

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	ふれあい健康センター(湯つ藏んど)	所在地	大字仁礼 7 – 3						
施設分類	スポーツ・観光系施設	所管課	商業観光課						
財産区分	行政財産	延床面積 (m²)	5,594						
居住誘導区域	非該当	防災関連施設	該当						
設置根拠	須坂市ふれあい健康センター条例	設置の目的・経緯	市民の健康と福祉の増進並びに観光振興を図る。		交通アクセス	須坂市民バス 湯つ藏んど バス停徒歩0分			
事業内容	施設管理・運営	貸付の有無	有	大中小交流室・談話室・福祉浴室					
管理運営の状況	指定管理	委託内容	施設管理・運営						
備考 (その他特記事項)									

2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上	2	地下	-	建築面積	3484.69m ²	延床面積	5,594
構造 (主たる建物)	RC造			建築年度 (主たる建物)	1997	築年数 (主たる建物)	27	
取得価格	2,485,784,848			耐震化の状況		新耐震基準施設		
帳簿原価	2,491,056,328			バリアフリー対応				
減価償却累計額	1,794,611,658			省エネルギーの対応状況		ヒートポンプ導入		
老朽化率	72%			施設の劣化状況				

3 施設コスト

単位（千円）

		2022	2023	2024	3年間の平均値
費用	人件費				
	委託料	6,099	4,971	3,809	4,960
	光熱水費				
	維持補修費	4,523	20,328	25,593	16,815
	減価償却費	34,412	34,412	34,412	34,412
	指定管理料				
	その他	32,237	18,229	0	16,822
費用合計		77,271	77,940	63,814	73,008

	利用料等収入				
収入	国庫補助金等収入				
	その他				
	収入合計	0	0	0	0

収支	-77,271	-77,940	-63,814	-73,008
利用者一人当たりコスト	0.35	0.34	0.27	0.32

修繕履歴	金額	内容	2020年度 岩・檜風呂ろ過装置修繕
			2020年度 給湯加圧ポンプ部品取替
			2020年度 昇降機改修
			2020年度 滝風呂ろ過装置修繕
			2021年度 誘導灯設備修繕
			2021年度 源泉洗浄修繕
			2022年度 岩風呂昇温更新
			2022年度 配湯ポンプ修繕
			2023年度 ウッドデッキ修繕（飲食スペース前）
			2023年度 ウッドデッキ修繕（多目的）
			2023年度 源泉洗浄修繕
			2023年度 1階女子トイレ修繕
			2023年度 2階男子トイレ修繕
			2023年度 2階女子トイレ修繕
改修履歴	内容		
今後10年間での大規模改修費用		建物・設備維持の場合：約10億円	

4 施設利用状況

利用対象	どなたでも	
開館時間	平日	10時から22時
	休日	10時から22時
休館日	不定休（年4回程度）	
駐車場の有無	有	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	222,848	232,628	235,349	230,275	2%
年間利用可能人数					
利用率					
(参考) 年間目標利用人数					
年間利用時間					
年間利用可能時間					
稼働率					

公共施設評価結果シート

施設名	施設名称	ふれあい健康センター(湯つ戻んど)
-----	------	-------------------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない (50%未満)
	合計	2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない (50%未満)
	B	1	平均と比較して少ない (50%以上100%未満)
	C	0	平均と比較し同規模 (100%以上150%未満)
	D	-1	他施設と比較して多い (150%以上200%未満)
	E	-2	他施設と比較してかなり多い (200%以上)

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた (0%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
			過去3か年平均が10%未満
	合計	2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた (10%以上)
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた (0%以上)
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った (-5%以上)
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った (-10%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	B	1	50%以上75%未満
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	D	-2	必要な改修が行われていない
	合計	0	

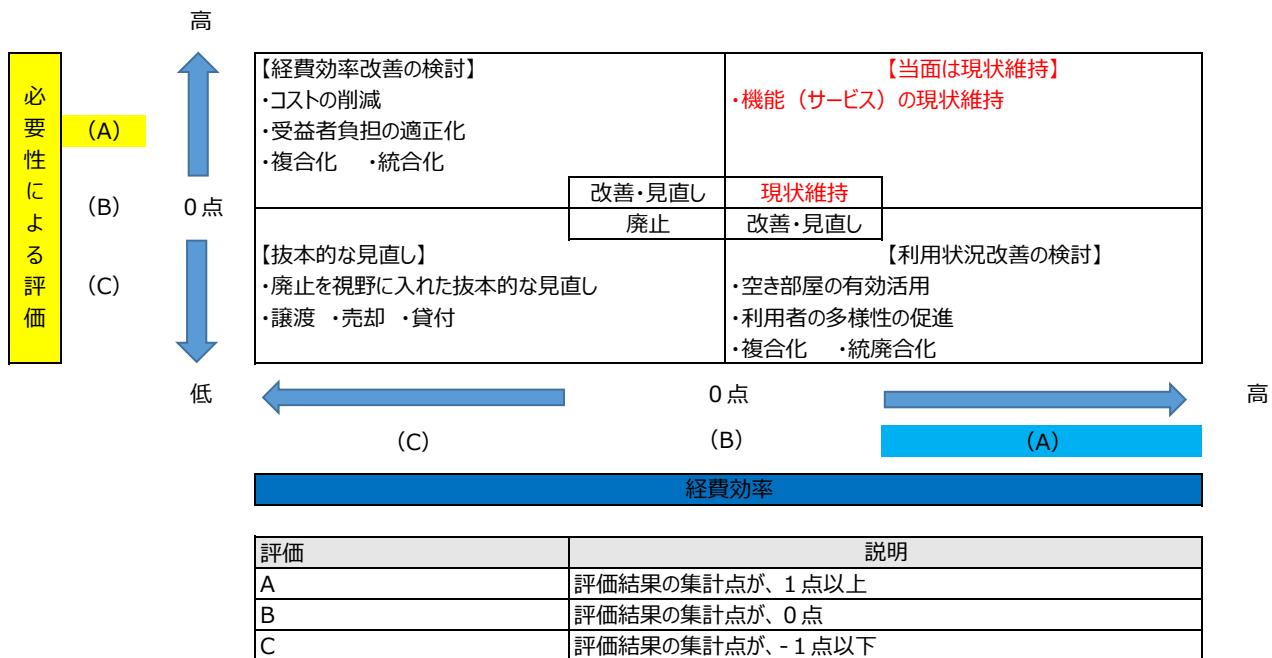
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	2
縦軸	必要性による評価	2
	合計点数	4

【当面は現状維持】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	0
縦軸	必要性と経費効率からの評価	4
	合計点数	4

【長寿命化の検討】

